

2019年度 動物実験計画書の申請・承認状況

申請件数	承認件数	不承認件数
36件	36件	0件

◎研究課題数： 36件

No.	研究課題	実験責任者	承認可否
1	薬物の薬効発現機構の解析	薬学部 教授 奈邊 健	可
2	卵白アルブミン(OVA)誘発性喘息マウスモデルの病態形成におけるケモカインCCL28の役割の解明	薬学部 教授 奈邊 健	可
3	医療系薬学演習b	薬学部 教授 奈邊 健	可
4	神経細胞死と神経新生	薬学部 教授 荻田 喜代一	可
5	感音難聴のメカニズムの解明と予防薬・治療薬の探索	薬学部 教授 荻田 喜代一	可
6	がん治療後に持続する精神機能障害のメカニズムの解明	薬学部 教授 荻田 喜代一	可
7	食品・環境汚染物質の毒性評価	薬学部 講師 角谷 秀樹	可
8	生活習慣病の予防に関する研究	薬学部 教授 上野 仁	可
9	医療薬学実習a	薬学部 教授 山下 伸二	可
10	薬物の消化管内吸収動態の評価	薬学部 教授 山下 伸二	可
11	薬物および機能性分子の作用発現機構の解析	薬学部 准教授 倉本 展行	可
12	環境要因(ストレス、栄養、薬物)が精神機能に与える影響の解析	薬学部 教授 矢部 武士	可
13	DDS的手法に基づく創薬・創剤研究	薬学部 教授 佐久間 信至	可
14	ヒト疾患モデルのin vivo, in vitro 解析	薬学部 教授 前田 定秋	可
15	免疫・アレルギー疾患に対する新規治療戦略の開発	薬学部 教授 河野 武幸	可
16	医薬品の適正使用および効果的な使用方法に関する	薬学部 教授 河野 武幸	可

No.	研究課題	実験責任者	承認可否
17	ヒト疾患モデルマウスの開発	薬学部 教授 尾崎 清和	可
18	ヒト疾患モデルマウスの開発(誘発モデル)	薬学部 教授 尾崎 清和	可
19	ヒト疾患モデルラットの開発	薬学部 教授 尾崎 清和	可
20	基盤実習	薬学部 教授 尾崎 清和	可
21	FAM83H遺伝子改変マウスの解析	薬学部 教授 山岸 伸行	可
22	ラット、マウスの組織におけるMATEおよびKlotho発現部位の免疫組織化学的検討	薬学部 教授 大塚 正人	可
23	細胞間情報伝達物質スフィンゴシン1リン酸(S1P)輸送体の探索と解析	薬学部 教授 大塚 正人	可
24	常態及び病態時における薬物等の生体への影響に関する研究	薬学部 講師 西田健太郎	可
25	医薬品及び機能性食品が与える相互作用および薬物動態(分布・吸収)への影響	薬学部 助教 小西 麗子	可
26	皮膚症状を呈するアレルギー疾患に対する、ステロイド代替療法の提案と評価	薬学部 助教 小西 麗子	可
27	UVB照射によるシミの形成について	理工学部 講師 居場 嘉教	可
28	睡眠作用を調べる物質のスクリーニング	理工学部 講師 居場 嘉教	可
29	薬理学実習	理工学部 講師 居場 嘉教	可
30	持久力に及ぼすドーピング禁止薬物の影響	理工学部 講師 居場 嘉教	可
31	細胞の分化・増殖・運動の制御に関わるシグナル伝達分子の解析	理工学部 准教授 船越 英資	可
32	ATPイメージングによる精子のエネルギー代謝機構の解析	理工学部 講師 井尻 貴之	可
33	うつ病脆弱遺伝子の新規探索	薬学部 准教授 倉本 展行	可
34	マウス精子の受精能獲得惹起する化合物の探索	理工学部 教授 西村 仁	可
35	アトピー性皮膚炎の増悪メカニズムの解明	薬学部 教授 奈邊 健	可
36	卵白アルブミン(OVA)誘発性喘息マウスモデルの病態形成におけるスフィンゴミエリンの合成酵素2(SMS2)の役割の解明	薬学部 講師 北谷 和之	可